

## 大江家の祖先

大江家の祖先について書かれた市内蛸瀬町の古文書によれば、興国3年（1399）ころ大江備中守孝範が中津・丸山城（現中津城）に土着し、中津地方の豪族となった。天正15年（1587）に黒田孝隆（如水）は豊前6郡（京都、築城、仲津、上毛、下毛、宇佐）を秀吉より与えられ孝隆は京都郡馬ヶ岳城、宇佐郡時枝城、次いで丸山城を攻めた。このため大江一族は蛸瀬川一帯に移り住み、代々医師をなすものが多く出た。大江家の資料から大江雲澤の家祖、大江五郎衛門（範行）（1685-1732）も蛸瀬町（当時は大家郷、大江村）に住んでいた。